



平成27年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年6月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 神戸物産

コード番号 3038 URL <http://www.kobebussan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 沼田 博和

問合せ先責任者 (役職名) STB部門 部門長

(氏名) 坂本 匡浩

TEL 079-496-6610

四半期報告書提出予定日 平成27年6月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年10月期第2四半期の連結業績(平成26年11月1日～平成27年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年10月期第2四半期	111,462	6.0	3,117	48.7	4,757	98.0	2,365	262.8
26年10月期第2四半期	105,145	32.1	2,096	69.6	2,402	5.1	652	△44.0

(注) 包括利益 27年10月期第2四半期 3,091百万円 (210.1%) 26年10月期第2四半期 996百万円 (△38.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年10月期第2四半期	173.10	171.83
26年10月期第2四半期	46.43	46.36

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年10月期第2四半期	132,432	23,793	14.0	1,374.28
26年10月期	108,157	22,935	17.7	1,359.22

(参考) 自己資本 27年10月期第2四半期 18,579百万円 26年10月期 19,154百万円

当社は、平成27年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、平成26年10月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年10月期	—	0.00	—	80.00	80.00
27年10月期	—	0.00	—	—	—
27年10月期(予想)	—	—	—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成27年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。したがって、株式分割前の基準に対し、平成27年10月期は実質的に2倍となる80円を予定しております。

3. 平成27年10月期の連結業績予想(平成26年11月1日～平成27年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	225,000	5.1	6,100	17.8	7,200	12.1	4,000	53.8	294.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社ジー・アカデミー、除外 1社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年10月期2Q	17,100,000 株	26年10月期	17,600,000 株
② 期末自己株式数	27年10月期2Q	3,580,714 株	26年10月期	3,507,656 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年10月期2Q	13,668,453 株	26年10月期2Q	14,045,538 株

当社は、平成27年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、平成26年10月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年11月1日～平成27年4月30日)における当社グループを取り巻く環境につきましては、円安の進行に伴う原材料や商品の仕入価格の高騰、消費者の低価格・節約志向により、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは「六次産業『真』の製販一体」というグループ目標のもと、積極的なM&Aを実行し、神戸物産グループ全体の競争力を強化してまいりました。また、消費増税後のお客様のニーズを素早く捉えた施策を実施し、高品質で魅力のある商品をベストプライスで提供してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,114億62百万円(前年同期比6.0%増)、営業利益は31億17百万円(同48.7%増)、経常利益は47億57百万円(同98.0%増)、当期純利益23億65百万円(同262.8%増)となりました。

事業部門別の売上高の概況は次のとおりです。

①業務スーパー事業

当第2四半期連結累計期間の業務スーパー事業における出店状況は、20店舗の出店、9店舗の退店、純増11店舗の結果、総店舗数は696店舗となりました。

新規出店の内訳といたしましては、直轄エリア12店舗、地方エリア8店舗であります。出店に関しましては関東エリアへの出店を中心に新規出店を進めると同時に、営業年数が長くなり老朽化してきた店舗の移転等を積極的にFCオーナーに勧めております。

また、既存店舗の活性化、顧客ニーズに対応したPB商品の開発、及び自社輸入商品の増強等、多角的な販売施策を講じ、リピーター及び新規顧客の獲得に努めてまいりました。

この結果、業務スーパー事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は929億48百万円(前年同期比7.2%増)となりました。

②神戸クック事業

神戸クック事業につきましては、日本最大級の大型バイキングチェーンである「神戸クックワールドビュッフェ」の総店舗数は全国で13店舗、日常の食卓の代行をコンセプトとし中食と食品物販の融合店である「Green's K」の総店舗数は全国で11店舗、「ビュッフェ」と「セルフクック」を融合させた「Green's K 鉄板ビュッフェ」の総店舗数は全国で5店舗、「ビュッフェ」と「しゃぶしゃぶ」を融合させた「ビュッフェ&しゃぶしゃぶ神戸」は全国で1店舗、海外での外食事業となります「SHABU SHABU KOBE」はニューヨークで1店舗となりました。

この結果、神戸クック事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は6億20百万円(同10.4%減)となりました。

③クックイノベーション事業

クックイノベーション事業においては、外食事業において多様な業態を保有している強みを生かし、業態ごとに様々な工夫を凝らしたお客様に飽きのこない店舗づくりや業務効率の改善を実施し、競争力の強化・売上の拡大と収益率の向上に努めてまいりました。

この結果、クックイノベーション事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は175億86百万円(同0.1%増)となりました。

④エコ再生エネルギー事業

メガソーラー発電は、平成27年3月に北海道平取町で新たに1カ所稼働を開始し、平成27年4月末現在、北海道で4カ所、兵庫県で4カ所、福岡県で5カ所の計13カ所で15.6MWの発電を開始しております。

今後も、より安全でクリーンな再生可能エネルギーの普及拡大に向けて、各地でメガソーラー発電を中心に新エネルギーの発電事業を推進してまいります。

この結果、エコ再生エネルギー事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は3億8百万円(同61.1%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期末における総資産は、前連結会計年度末と比べ242億74百万円増加し、1,324億32百万円(前連結会計年度末比22.4%増)となりました。負債は234億15百万円増加し、1,086億38百万円(同27.5%増)、純資産は8億58百万円増加し、237億93百万円(同3.7%増)となりました。

資産増加の主な要因は現預金の増加によるもの、負債増加の主な要因は長期借入金の増加によるもの、純資産増加の主な要因は利益剰余金の増加であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末と比べ206億99百万円増加し、636億6百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、37億27百万円の収入(前年同期は52億4百万円の収入)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益、減価償却費及び法人税等の支払額によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、41億45百万円の支出(前年同期は45億19百万円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出、投資有価証券の取得による支出及び定期預金の払戻による収入によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、200億66百万円の収入(前年同期は82億93百万円の収入)となりました。これは主に長期借入の実行によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年10月期の連結業績予想につきましては、昨日(平成27年6月10日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」及び「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ(補足資料)」をご覧ください。

(注) 上記の予測は、現時点での情報に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を含んでおりますので、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間より、株式会社ジー・アカデミーを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。なお、新たに設立した株式会社朝びき若鶏は特定子会社には該当しませんが、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,627	64,454
受取手形及び売掛金	11,047	11,412
商品及び製品	5,105	5,185
仕掛品	419	509
原材料及び貯蔵品	944	1,174
その他	3,151	2,166
貸倒引当金	△20	△27
流動資産合計	66,275	84,877
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,322	11,834
土地	12,960	14,151
その他(純額)	10,285	11,227
有形固定資産合計	33,568	37,212
無形固定資産	543	568
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,547	4,464
その他	3,876	5,949
貸倒引当金	△653	△640
投資その他の資産合計	7,770	9,774
固定資産合計	41,882	47,555
資産合計	108,157	132,432

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	15,241	15,984
短期借入金	1,804	4,776
1年内償還予定の社債	-	530
未払法人税等	1,833	1,622
賞与引当金	182	142
店舗閉鎖損失引当金	7	15
その他	4,846	5,087
流動負債合計	23,915	28,160
固定負債		
社債	-	2,870
新株予約権付社債	983	-
長期借入金	53,582	70,843
退職給付に係る負債	270	292
預り保証金	5,023	5,067
資産除去債務	1,108	1,178
その他	337	226
固定負債合計	61,306	80,478
負債合計	85,222	108,638
純資産の部		
株主資本		
資本金	64	64
資本剰余金	8,216	7,482
利益剰余金	13,738	15,540
自己株式	△3,037	△5,247
株主資本合計	18,980	17,839
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16	△11
為替換算調整勘定	156	751
その他の包括利益累計額合計	173	740
新株予約権	24	48
少数株主持分	3,756	5,166
純資産合計	22,935	23,793
負債純資産合計	108,157	132,432

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年4月30日)
売上高	105,145	111,462
売上原価	89,297	95,127
売上総利益	15,847	16,335
販売費及び一般管理費	13,750	13,218
営業利益	2,096	3,117
営業外収益		
受取利息	83	55
受取配当金	3	3
受取賃貸料	44	45
為替差益	297	1,203
デリバティブ評価益	56	573
補助金収入	73	33
その他	272	241
営業外収益合計	832	2,156
営業外費用		
支払利息	232	293
持分法による投資損失	12	-
支払手数料	131	132
賃貸収入原価	40	23
その他	110	66
営業外費用合計	527	515
経常利益	2,402	4,757
特別利益		
固定資産売却益	0	2
新株予約権戻入益	-	0
特別利益合計	0	2
特別損失		
固定資産除却損	7	19
固定資産売却損	0	-
投資有価証券評価損	-	5
持分変動損失	-	242
減損損失	295	264
店舗閉鎖損失引当金繰入額	11	15
特別損失合計	316	547
税金等調整前四半期純利益	2,086	4,213
法人税、住民税及び事業税	1,029	1,654
法人税等調整額	219	33
法人税等合計	1,249	1,688
少数株主損益調整前四半期純利益	836	2,524
少数株主利益	184	159
四半期純利益	652	2,365

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年11月1日 至 平成26年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年11月1日 至 平成27年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	836	2,524
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21	△28
為替換算調整勘定	181	594
その他の包括利益合計	160	566
四半期包括利益	996	3,091
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	812	2,932
少数株主に係る四半期包括利益	184	159

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年11月1日 至 平成26年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年11月1日 至 平成27年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,086	4,213
減価償却費	1,495	1,515
減損損失	295	264
のれん償却額	275	—
負ののれん償却額	△1	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10	△6
受取利息及び受取配当金	△87	△59
デリバティブ評価損益 (△は益)	△56	△573
支払利息	232	293
為替差損益 (△は益)	△279	△978
持分法による投資損益 (△は益)	12	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	0	△2
売上債権の増減額 (△は増加)	△336	△362
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,010	△241
仕入債務の増減額 (△は減少)	423	751
預り保証金の増減額 (△は減少)	72	44
前渡金の増減額 (△は増加)	△137	500
その他	699	426
小計	5,695	5,785
利息及び配当金の受取額	106	96
利息の支払額	△230	△289
法人税等の支払額	△367	△1,864
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,204	3,727
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,690	△5,019
有形固定資産の売却による収入	79	23
投資有価証券の取得による支出	—	△2,014
投資有価証券の売却による収入	200	532
関係会社株式の取得による支出	△5	△45
関係会社株式の売却による収入	—	2
子会社の設立による支出	△515	—
貸付けによる支出	△510	△88
貸付金の回収による収入	20	25
定期預金の預入による支出	△807	△706
定期預金の払戻による収入	774	3,356
事業譲受による支出	—	△130
その他	△66	△80
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,519	△4,145

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年11月1日 至 平成26年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年11月1日 至 平成27年4月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	500	300
短期借入金の返済による支出	△8	△466
長期借入れによる収入	8,530	20,800
長期借入金の返済による支出	△238	△400
社債の発行による収入	—	3,354
自己株式の処分による収入	14	45
自己株式の取得による支出	—	△2,999
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△12	△2
配当金の支払額	△491	△563
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,293	20,066
現金及び現金同等物に係る換算差額	250	1,049
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	9,229	20,699
現金及び現金同等物の期首残高	29,819	42,907
現金及び現金同等物の四半期末残高	39,048	63,606

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年11月1日至平成26年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	業務 スーパー 事業	神戸 クック 事業	クックイノ ベンチャー 事業	エコ再生 エネルギー 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	86,698	692	17,562	191	105,145	—	105,145
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,198	49	0	—	1,248	△1,248	—
計	87,897	741	17,563	191	106,393	△1,248	105,145
セグメント利益 又は損失(△)	2,589	△73	412	△63	2,864	△767	2,096

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、セグメント間の内部取引消去であります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額△767百万円は各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「クックイノベンチャー事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。

当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において、295百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年11月1日至平成27年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	業務 スーパー 事業	神戸 クック 事業	クックイノ ベンチャー 事業	エコ再生 エネルギー 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	92,948	620	17,586	308	111,462	—	111,462
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,057	24	0	—	1,081	△1,081	—
計	94,005	644	17,586	308	112,544	△1,081	111,462
セグメント利益 又は損失(△)	3,289	△181	805	△29	3,884	△767	3,117

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 売上高の調整額は、セグメント間の内部取引消去であります。
 - (2) セグメント利益又は損失の調整額△767百万円は各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において、固定資産の減損損失を264百万円を計上しております。当該減損損失の計上額は、「クックイノベンチャー事業」セグメントにおいて174百万円、その他において89百万円であります。その他には当社が行っている設備賃貸事業が含まれますが、セグメント利益又は損失に及ぼす影響はなく、セグメント情報の記載を省略しております。